

タプコム配合点眼液

【この薬は？】

販売名	タプコム配合点眼液 (TAPCOM combination ophthalmic solution)
一般名	タフルプロスト・チモロールマレイン酸塩 (Tafluprost・Timolol Maleate)
含有量 (1mL 中)	タフルプロスト 15 μ g チモロールマレイン酸塩 6.83mg (チモロールとして 5mg)

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDAホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、プロスタグランジン関連薬と β 遮断薬の 2 種類の薬を含む、緑内障・高眼圧症治療剤と呼ばれるグループに属する点眼薬です。
- ・この薬は、眼圧を調節する水分の排出を促進し、また、眼圧を調節する水分の産生を抑制して眼圧を下げます。
- ・次の病気の人に処方されます。

緑内障、高眼圧症

- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、使用量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに使用し続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・気管支喘息のある人、または過去に気管支喘息になったことのある人、気管支痙攣のある人、重篤な慢性閉塞性肺疾患のある人
- ・十分コントロールされていない心不全のある人、洞性徐脈、症状の重い房室ブロックのある人、心原性ショックのある人
- ・オミデネパグ イソプロピル（エイベリス点眼液）を使用している人
- ・過去にタブコム配合点眼液に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・肺高血圧による右心不全のある人
- ・うっ血性心不全のある人
- ・糖尿病性ケトアシドーシス及び代謝性アシドーシスのある人
- ・十分コントロールされていない糖尿病のある人
- ・水晶体の無い人、眼内レンズを挿入している人
- ・虹彩（こうさい）炎やぶどう膜炎などの眼内炎のある人
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬［オミデネパグ イソプロピル（エイベリス点眼液）］や、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

この薬は点眼薬です。

●使用量および回数

使用量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、使用する量および回数は、次のとおりです。

1回1滴、1日1回点眼する。

- ・頻繁に点眼すると眼圧を下げる作用が弱まる可能性がありますので、1日1回を超えて点眼しないでください。

●どのように使用するか？

- ・手をよく洗い、容器の先端が直接目に触れないように注意して点眼してください。
- ・薬液が鼻や口などに流れないように、点眼後、1～5分間まぶたを閉じて、涙嚢部（目頭のやや鼻より）を指先で軽く押さえてください。

- ・目の周りに点眼液がついていると、目の周りが黒ずんだり、多毛になったり、まつげが長く、太くなったりすることがあるため、すぐにぬらしたガーゼやティッシュでよくふき取るか、目を閉じて洗顔してください。
- ・他の点眼薬も使用する場合には、少なくとも5分以上間隔をあけてから点眼してください。
- ・ソフトコンタクトレンズをつけている場合には、レンズを外してから点眼し、5～10分間の間隔をあけてからレンズをつけてください。（ベンザルコニウム塩化物がソフトコンタクトレンズに吸着することがあります。）

●使用し忘れた場合の対応

- ・1回に2滴点眼したり、1日に2回点眼したりしてはいけません。
- ・その日のうちに気づいた場合は、すぐに1回1滴を点眼してください。
- ・翌日に気づいた場合には、前日の分は点眼せず、1回1滴を1日1回点眼してください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

- ・異常を感じたら、医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・徐脈（脈がとぶ、脈が減る）や息苦しさなど、心臓や呼吸器に異常があらわれた人は医師に相談してください。
- ・メラニンの増加により虹彩（黒目）の色が変化することがあります。点眼を中止しても元にもどらないことがあります。片目のみ点眼している場合は、左右の黒目の色に差が出てくる場合もあります。
メラニンの増加によりまぶたが黒ずむことがあります。また、目の周りが多毛になったり、まつげが長く、太くなることもあります。これらは、点眼を中止するとしだいに元にもどる可能性があります。
この薬を使用する場合には、これらの症状について、医師、薬剤師などから十分説明を受けてください。

また、まぶたの色調変化や、目の周りが多毛になることを防いだり、軽減したりするため、点眼後は目の周りについた薬をよくふき取るか、洗顔してください。

- ・目がしみる、目のかゆみ、目の痛みなどの症状があらわれることがあります。このような自覚症状が持続する場合にはただちに受診してください。
- ・点眼後、一時的に目がかすむことがありますので、症状が回復するまでは機械の操作や自動車などの運転は行わないでください。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
虹彩色素沈着 こうさいしきそちんちゃく	黒目（虹彩）の色が濃くなる
眼類天疱瘡 がんるいてんぼうそう	目の充血、目のかゆみ、目の異物感
気管支痙攣 きかんしけいれん	息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ
呼吸困難 こきゅうこんなん	息苦しい、息切れ
呼吸不全 こきゅうふぜん	息苦しい、息切れ
心ブロック しん	めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ
うっ血性心不全 うつけっせいしんふぜん	息苦しい、息切れ、疲れやすい、むくみ、体重の増加
脳虚血 のうきょけつ	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
心停止 しんていし	気を失う
脳血管障害 のうけっかんしょうがい	突然の意識の低下、突然の意識の消失、突然片側の手足が動かしにくくなる、突然の頭痛、突然の嘔吐、突然のめまい、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
全身性エリテマトーデス ぜんしんせい	体がだるい、関節の痛み、発熱、顔の赤い発疹、体重減少

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。このような症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	疲れやすい、むくみ、体重の増加、体がだるい、発熱、体重減少
頭部	めまい、気を失う、立ちくらみ、突然の意識

	の低下、突然の意識の消失、突然の頭痛、突然のめまい
顔面	顔の赤い発疹
眼	黒目（虹彩）の色が濃くなる、目の充血、目のかゆみ、目の異物感
口や喉	突然の嘔吐、突然しゃべりにくくなる、突然言葉が出にくくなる
胸部	息がぜいぜいする、息をするときヒューヒューと音がする、突然の息切れ、息苦しい、息切れ
手・足	脈が遅くなる、突然片側の手足が動かしにくくなる、関節の痛み

【この薬の形は？】

色	無色澄明
内容量	2.5mL (5mL 用点眼容器に 2.5mL 入っていますので、液の量が少なく見えます。)
容器の形状	

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	タフルプロスト チモロールマレイン酸塩
添加物	ポリソルベート80、リン酸二水素ナトリウム水和物、エデト酸ナトリウム水和物、濃グリセリン、ベンザルコニウム塩化物、pH調節剤

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・添付の遮光用投薬袋に入れ、光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：参天製薬株式会社 (<https://www.santen.co.jp>)

お客様相談室

電話：0120-127-023 06-7664-8623

受付時間：9時～17時（土、日、祝日を除く）